

第12回 うえだ 城下町映画祭

上田文化会館 上田でんき館 上田市マルチメディア情報センター

2008 11.8 土 - 9 日

特集「昭和」「神山征二郎」「自主制作映画」

ゲストトーク／上田文化会館

11.8 日 「ラストゲーム 最後の早慶戦」
監督 神山征二郎
俳優 渡辺大 俳優 原田佳奈
11.9 日 「夢のまにまに」
監督 木村威夫 俳優 長門裕之

第6回自主制作映画コンテスト

11.8 日 / 上田文化会館

トークイベント「自主制作映画の喜怒哀楽」

- ◎表彰式
- ◎受賞作品上映

特別上映 (8 日 - 9 日) 上田文化会館3階視聴覚室)



「ジャポニカ・ウィルス」
10:00~11:34

2006年
出演: 斎藤陽一郎 鳥柄なおこ
藤井 樹



「キラッドロボウ」
11:40~13:13

2006年
出演: 正木道二 木村 有
森川 裕可

◎全入賞作品上映会 (鑑賞無料)

11.15 日 - 16 日 / 上田市マルチメディア情報センター
TEL.0268-39-1000

映画のまち「ロケ地上田展」

11.8 日 - 9 日 / 上田文化会館・幻灯舎

『昭和』
僕は忘れない、
あの八月の熱い、
輝いていた、
映画たちの日々。

上映作品

「上映作品150本
記念パンフ」を
入場者にもれなく
差し上げます。



「ひめゆりの塔」



「ラストゲーム 最後の早慶戦」



「奈緒子」



「三たびの海峡」



「隠し砦の三悪人 THE LAST PRINCESS」



「裸の島」



「東京オリンピック」



「ALWAYS 続・三日月の夕日」



「夢のまにまに」



「エレキの若大将」

チケット料金 ■1日券=1,800円 (前売 1,500円) ■高・大学生=800円 ■中学生以下=500円、未就学児童 無料 (全て税込)

© 2008 「ラストゲーム 最後の早慶戦」製作委員会

チケット販売 / 上田映劇 上田でんき館 琴光堂 県内平安堂全店 松本カクタラモール 幻灯舎 上田創造館 上田市マルチメディア情報センター 上田文化会館

丸子文化会館 真田公民館 武石公民館 上田市教育委員会第二庁舎

主催 / うえだ城下町映画祭実行委員会 共催 / 信越放送 文化庁 東京国立近代美術館フィルムセンター 特別協賛 / 信州ハム株式会社

後援 / 上田地域広域連合 上田商工会議所 上田市社会福祉協議会 上田観光コンベンション協会 上田青年会議所 上田市文化芸術協会 信州地域デジタルアーカイブ研究会 上田商業21世紀会

長野県情報サービス振興協会東信支部 長野大学 上田連合婦人会 上田市婦人団体連絡協議会 女(ひと)と男(ひと)うえだ市民の会 東日本旅客鉄道(株) 上田駅 しなの鉄道(株) (株) 上田交通 (財) 八十二文化財団

信濃毎日新聞社 (株) 週刊上田新聞社 東信ジャーナル社 信州民報 (株) 上田ケーブルビジョン 丸子テレビ放送 東京上田会 戦没画学生慰霊美術館「無言館」 Editor's Museum「小宮山重平の編集室」

協力 / セム・コーポレーション コミュニティシネマ支援センター

お問い合わせ (前日まで) / うえだ城下町映画祭実行委員会 (事務局: 上田市教育委員会第二庁舎) TEL.0268-23-6361

<http://www.umeric.jp/2008/eigasai/index.html>

プログラム

「ひめゆりの塔」



1995年 製作:東宝 監督:神山征二郎
出演:沢口靖子 後藤久美子 中江有里
酒井美紀 高嶋政宏 神山繁 吉行和子

太平洋戦争末期、国内で唯一の戦場となった沖縄は、アメリカ軍による激しい攻撃にさらされていた。沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の生徒たちは、傷ついた兵士を看護する従軍命令を受け、ひめゆり学徒隊として最前線の戦地に赴くことになった。

〈上田ロケ作品〉

「ラストゲーム 最後の早慶戦」



2008年 製作:シネカン 監督:神山征二郎
出演:渡辺大 柄本佑 原田佳奈 柄本明
藤田まこと 山本圭 富司純子 石坂浩二

1943年夏、太平洋戦争の真っただ中、すでに敵国アメリカのスポーツとして六大学野球は解散させられていた。だが、早稲田の野球部は、顧問の飛田の日本野球を滅ぼしたくないという決意のもと、練習を続けている。そんなある日、慶應の塾長小泉が飛田を訪ねてきた。

〈上田ロケ作品〉

「奈緒子」



2008年 製作:日活撮影所 監督:古厩智之
出演:上野樹里 三浦春馬 笑福亭鶴瓶
佐津川愛美 綾野剛 富川一 大木清貴

1994年から2001年まで「ビックコミックスピリッツ」に連載された人気コミックの映画化。駅伝の感動と興奮をリアルかつダイナミックに演出したのは、信州出身の青春映画の俊英・古厩智之。若手実力派女優の上野樹里を主演に、清々しい映像で綴られた爽やかな群像劇だ。

「三たびの海峡」



1995年 製作:「三たびの海峡」製作委員会
監督:神山征二郎 出演:三國連太郎 南野陽子 李鍾浩 永島敏行 隆大介 風間杜夫

日本が列強の仲間入りを目指した近代以降、朝鮮半島と日本を引き裂くシンボルとなった海峡・玄界灘を三度わたった男がいた。日本に強制連行された朝鮮人男性の半生を痛切かつドラマチックに描く大河ロマン。鍛冶町付近、東御市の小学校等でロケされた。

〈上田ロケ作品〉

「隠し砦の三悪人 THE LAST PRINCESS」



2008年 製作:東宝他 監督:樋口真嗣 出演:松本潤 長澤まさみ 阿部寛 椎名桔平 宮川大輔 中本雅裕 高嶋政宏 國村隼

1958年公開の黒澤明の「隠し砦の三悪人」を、大胆に翻案したリメイク作品。時は戦国。金掘り師の武蔵ときこの新八は、偶然、秋月の隠し金を見つけ我が物にしようとしたのだが、突然現れた真壁六郎太と名のる男に捕えられ、金も奪われてしまった。

〈上田ロケ作品〉

「裸の島」



1960年 製作:近代映画協会 監督:新藤兼人 出演:乙羽信子 殿山泰司 田中伸二 堀本正紀

スタッフも出演者も最小限にし超低予算で製作された独立プロの名作。瀬戸内海の小さな孤島で暮らす一家の自然との厳しい闘いを描く。セリフがなく効果音と音楽のみという実験的な映画で、当初は地味な公開だったが、モスクワ映画祭グランプリを獲得後は全世界で上映された。

「東京オリンピック」



1965年 製作:東京オリンピック映画協会 監督:市川崑 脚本:市川崑 和田夏十 白坂依志夫 谷川俊太郎

1964年10月、東京でオリンピックが開催された。これは、市川崑が総監督をつとめた、その記録映画である。カメラマン164人を動員し、超望遠レンズを使うなど、それまでの記録映画とは全く違うものになり、公開時、「芸術か記録か」でおいおいに論議されたのだった。

「ALWAYS 続・三丁目の夕日」



2006年 製作:「ALWAYS 続・三丁目の夕日」製作委員会 監督:山崎貴 出演:吉岡秀隆 小雪 須賀健太 堤真一 斎藤丸ひろ子 堀北真希

「ALWAYS 三丁目の夕日」の世界が再びスクリーンに帰ってきた。日本が高度経済成長時代に足を踏み入れようとしていた頃、鈴木オトでは親戚の娘、美加を預かることになった。一方、淳之介を父親に渡したくない茶川は、再び芥川賞に挑戦しようとして決意する…。

「夢のまにまに」



2008年 製作:バル企画ほか 監督:木村威夫 出演:長門裕之 有馬稲子 井上芳雄 宮沢りえ 永瀬正敏 上原多香子 浅野忠信

戦後の日本映画界の名作の美術を担当した巨匠木村威夫の監督デビュー作。映画学校の学長木室と学生村上の世代を超えた交流。そこで浮き彫りにされる木室と妻の過去。監督の決定的体験となった戦争を見据えながら若い若さ、男と女、生と死をめぐるめく映像美で表現する…。

〈上田ロケ作品〉

「エレキの若大将」



1965年 製作:東宝 監督:岩内克己 出演:加山雄三 星由里子 田中邦衛 有馬稲子 飯田蝶子 松本めぐみ 寺内タケシ 内田裕也

恋とスポーツと音楽に夢中な主人公たちの青春を描いて人気絶大の「若大将」シリーズ代表作。当時、日本中に巻き起こったエレキ・ブームが、本作の大ヒットで最高潮を迎える。加山雄三・自作自演の名曲「君といつまでも」は、本作で初披露された。

スケジュール

上田文化会館〈開場8:30〉
TEL.0268-22-0760

9:00~11:01	ひめゆりの塔
11:05~12:00	オープニングセレモニー ゲストトーク 「神山作品の世界」
12:05~13:41	ラストゲーム 最後の早慶戦
13:50~14:30	トークイベント 「自主制作映画の喜怒哀楽」
14:35~16:35	自主制作映画コンテスト 表彰式/受賞作品上映
16:45~18:45	奈緒子
18:55~20:58	三たびの海峡

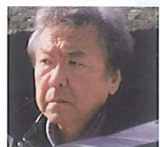
9:00~10:36	裸の島
10:45~13:35	東京オリンピック
13:55~16:21	ALWAYS 続・三丁目の夕日

16:30~17:10	ゲストトーク 「昭和の映画を語る」
17:15~18:55	夢のまにまに
19:05~20:39	エレキの若大将

上田でんき館
TEL.0268-23-3357

15:15~17:13 隠し砦の三悪人
THE LAST PRINCESS

ゲストプロフィール



監督 神山 征二郎

1941年、岐阜県生まれ。日本大学芸術学部映画学科中退。「二つのハーモニカ」で日本映画監督協会新人奨励賞受賞。「ハチ公物語」「遠き落日」「大河の一滴」「草の乱」などヒューマニズム溢れる作品を発表。



俳優 渡辺 大

1984年、東京都生まれ。01年TVドラマで俳優デビュー後、映画「ぶりにい・う・ま・ん」「男たちの大和/YAMATO」「バッテリー」「クロースZERO」などに出演、今最も注目されている若手俳優の一人だ。



俳優 原田 佳奈

1981年、福岡県出身。大学生の時、自身が主演する3分間のショートフィルムを企画、国内外の監督15人によるこの短編作品は「就活女優」のタイトルでまとめられ話題に。出演作「WIZ/OUT」「少林少女」等。



総合司会 フリーアナウンサー 大岩 堅一

1958年生まれ・千葉県出身。80年に大阪・朝日放送に入社。88年、FM長野に移りパーソナリティーとして活躍後、06年4月よりフリー。現在、FM長野「ミドルエイジ・コンシャス〜土曜アムニエ〜」(土)、SBCラジオ「松本育の口Magazine」(火)に出演中。



監督 木村 威夫

1918年、東京都出身。「悪太郎」「けんかえれじい」「刺青一代」などの鈴木清順監督作品で美術を担当し「清順美学」の創造に大きく貢献。「式部物語」がモントリオール映画祭で最優秀美術貢献賞を受賞。



俳優 長門 裕之

1934年、京都市生まれ。40年の「続清水港」に子役として出演以降、「太陽の季節」「にんげんちゃん」「遠き落日」「寝ずの番」などで印象深い演技を残す。日本を代表するベテラン俳優の一人。



「うた城下町映画祭実行委員会」委員長 映画評論家 品田 雄吉

1930年北海道生まれ。北海道大学卒業後、映画雑誌「キネマ旬報」編集部、「映画評論」編集長を経て、1965年よりフリーの映画評論家。執筆活動、テレビ出演の他、各大学の教授・学部長等を歴任。国際映画祭の審査員も多数務める。

トークイベント 「自主制作映画の喜怒哀楽」

自主制作映画とは何か？
その魅力や舞台裏についてお話しいただきます。

特別上映 8回・9回
上田文化会館3階視聴覚室



「ジャポニカ・ウィルス」 10:00~11:34
「カラコロボウ」 11:40~13:13

〈出演者〉
大槻 貴宏
(下北沢ミニシアター「トリウッド」代表)
大林 千栄英
(映画思想家)
古厩 智之
(映画監督)
永井 正夫
(映画プロデューサー)
入江 悠
(自主制作映画コンテスト第二回受賞者)
山岸 謙太郎・石田 肇
(自主制作映画コンテスト第五回受賞者)



●この秋、県内で4つの映画祭が開催されます。うた城下町映画祭のチケットの半券持参で、各映画祭が前売料金で当日入場できます。